

森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1194

令和7年9月号

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



ハス（久宝寺公園・大阪市内）

トピックス：「森林・林業技術視察プログラム」の取組について
（森林技術・支援センター）

ニュース：広島北部森林管理署、福井森林管理署、鳥取森林管理署

花草木：ノウゼンカズラ

我が署のスタッフ：山口森林管理事務所

森林事務所等紹介：山崎森林事務所（兵庫森林管理署）

国有林最前線：兵庫森林管理署

「森林・林業技術視察プログラム」の取組について

【森林技術・支援センター】

森林技術・支援センターは、全国7つの森林管理局に1箇所ずつ設置され、森林・林業に関する技術開発とその成果を民有林への普及につなげる業務を中心に担っています。

近畿中国森林管理局の森林技術・支援センターは、岡山県北西部にある新見市に所在し、これまで列状間伐試験、コンテナ苗植栽試験、早生樹（センダン、コウヨウザン）植栽試験、里山広葉樹資源の有効活用と天然更新技術に関する試験、UAV（ドローン）や地上レーザ計測などICT機器活用による森林資源の効率的な森林管理など様々な技術の実証に取り組んできており、これらの成果の民有林の森林・林業関係者への普及を図っています。

森林・林業技術視察プログラムの概要

項目	メニュー	視察ポイント	視察時間
植栽	コンテナ苗 (一貫作業と下刈り)	・コンテナ苗の生育状況、植栽時期別の生育状況 ・下刈り省略林分での生育状況	40分
	早生樹センダン	・センダンの生育状況 ・施肥の有無による成長の相違	30分
	早生樹コウヨウザン	・コウヨウザンの生育状況、スギとの成長比較 ・ノウサギ被害の状況や被害対策、萌芽による再生状況	30分
	エリートツリー (ヒノキ)	・エリートツリーの初期成長 ・コンテナ苗植栽時期による成長の相違	30分
	低密度植栽	・植栽本数別の生育状況 ・保育コスト分析や林冠閉鎖時期の予測結果等	30分
間伐	列状間伐	・初めての列状間伐から30年以上経過した林分の状況 ・無間伐林分等との比較	60分
針広混交林化 複層林施業	針広混交林化 (列状間伐の実施)	・列状間伐実施後の高木性広葉樹の状況 ・3伐6残の幅広の列状間伐の状況	60分
	針広混交林化 (天然広葉樹の活用)	・天然広葉樹の活用によるヒノキ植栽本数の低減 ・地持ち、下刈り等の省略	30分
	複層林施業 (帯状伐採)	・下木の成育状況 ・上下二段林との違い	30分
その他	里山広葉樹林の 活用・再生	・里山林の整備、活用手法 ・天然更新（天然下種更新、萌芽更新）の状況	60分
	スマート林業	・地上レーザスキャナによる高精度な森林情報の収集 ・ドローンで撮影した写真を用いた林分解析	60分
	ノウサギN型誘引捕獲	・ノウサギN型誘引捕獲の仕組み、設置方法 ・その他の捕獲方法	15分

その方法の一つとして、当センターにおいて視察できる技術開発の取組内容を分かり易くまとめた「森林・林業技術視察プログラム（以下「プログラム」という。）」を作成し、広く情報発信に努め、民有林の森林・林業関係者の方々に視察していただいているところです。

このプログラムには、コンテナ苗、早生樹、列状間伐、スマート林業など12のメニューがあり、それぞれのメニューの視察ポイントや視察に必要な所用時間などを記載することで、参加者の方々の関心に合った取組を効率的に組み合わせてご覧いただけるようにしています。

また、「森林施業コース」、「低コスト育林コース」、「バ



列状間伐箇所の視察（入開山国有林）

ラエティコース」など複数メニューを組み合わせ、視察時間が半日または全日の4つのお勧めコースを準備し、森林・林業初心者の方々でも気軽に参加いただけるよう工夫も行っています。

令和2年度から取組を開始し、直近3年間の視察実績は、合計27回、延べ視察人数は約360名となっており、地方自治体や林業事業体等の方々に対して低コスト施業技術に関する普及を図っています。

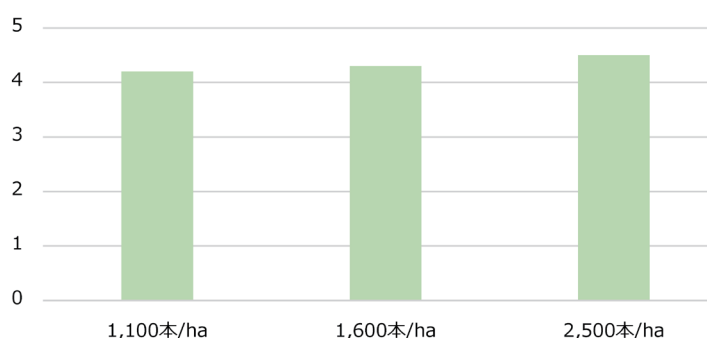
令和7年度から、プログラムのさらなる充実のため、水源涵養機能の発揮を重視する森林において推進している帯状伐採による複層林施業地と植栽本数を減らして再生林の低コスト化を図る低密度植栽の試験地を視察箇所を追加しました。

低密度植栽試験地（加茂山^{かもやま}国有林）は、これまで1ヘクタール当たり3,000本植栽するのが一般的なところ、1ヘクタール当たり1,100本、1,600本、2,500本植栽する区域を設けて成長等を調査しています。植栽後10年を経過していますが、どの植栽密度でも順調に成長しています。また、1ヘクタール3,000本植栽と比較して、例えば1,600本植栽は3割のコスト削減となりました。

この他、現在、下草の成長に負けない大苗植栽試験や過酷な夏の下刈りを避けて、冬に下刈りを行う試験などを実施中で、成果がまとまり次第視察地に追加していく予定です。

当センターでは引き続き、このプログラムを活用しながら、地方公共団体の職員、森林組合、林業事業体、地域林業の担い手として期待される学生など民有林の森林・林業関係者の方々の技術的支援を積極的に行っていきますので、現地視察等のご要望がございましたら、下記URLに記載の「お問合せ先」よりお気軽にお問い合わせください。

8年生時の平均樹高(m)



1,600本/ha植栽区（加茂山^{かもやま}国有林）

森林・林業技術視察プログラムに関する情報

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/shisatsu_program.html

